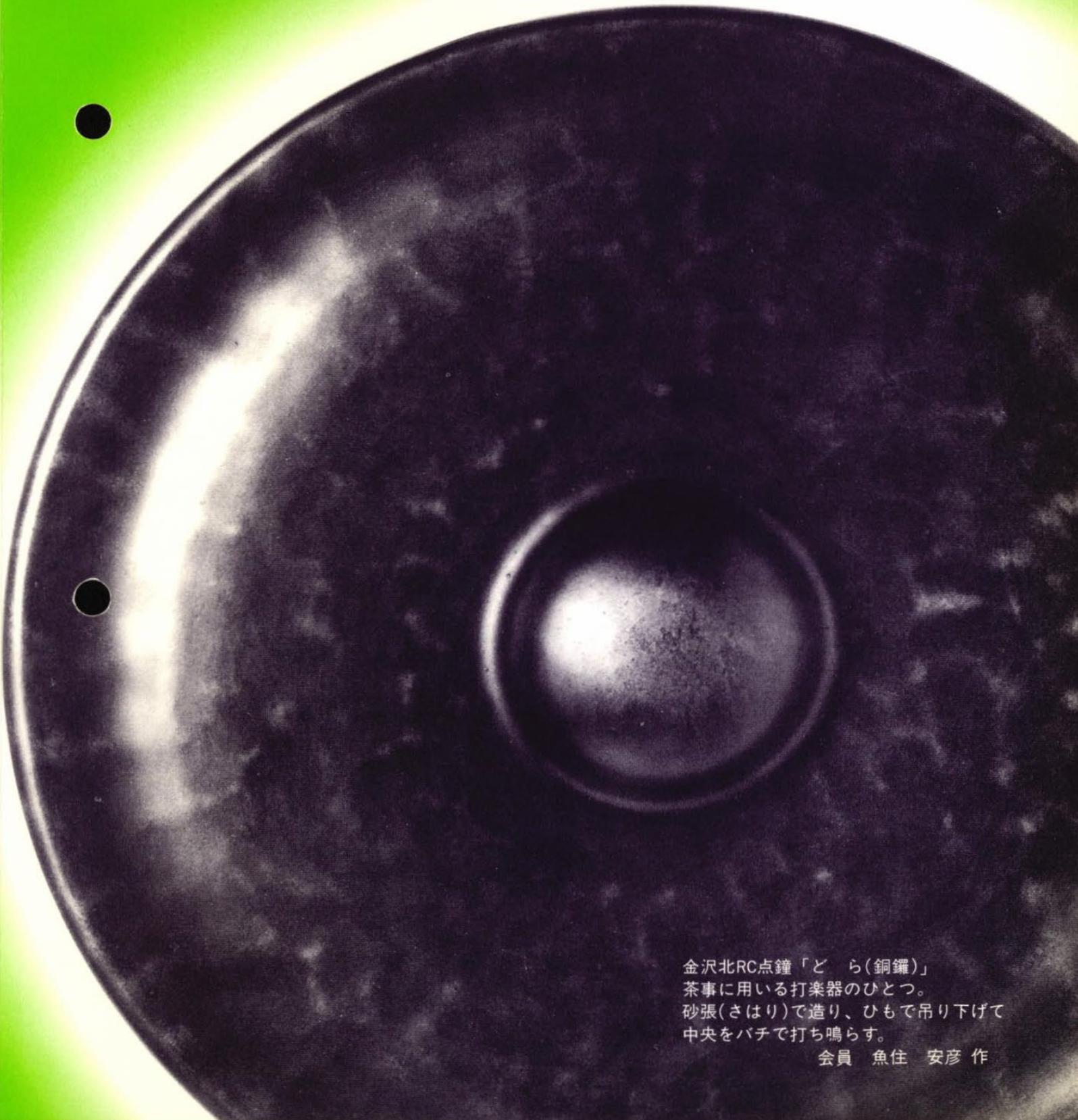


# 金澤北ロータリークラブ



金沢北RC点鐘「どら(銅鑼)」  
茶事に用いる打楽器のひとつ。  
砂張(さはり)で造り、ひもで吊り下げて  
中央をバチで打ち鳴らす。

会員 魚住 安彦 作

## 私の出会いと得たもの

富士銀行金沢支店長 沼 達雄



銀行入行後、24才から総合事務部とシステム開発部という本部勤務を22年間経験した。その間、いろいろな人と出会い、上司や先輩から教えを受け、現在の私があるが、その中から3点ほど話をしたいと思う。

### ①たった1行の提案

本部で最初は社内提案制度の事務局の仕事をした。過去の表彰された提案を調べると、一つだけ頭取賞が出ていた。それは「全支店に同じ漢和辞典を入れたらよい」というたった1行のものだった。当時は振込を受けた支店はテレタイプの片仮名の名前だけで口座を探していたが、片仮名だけでは漢字が思い浮かばず、電話でも説明しにくい名前もあり、苦労をしていた。その提案を採り上げた審査委員長は、当時30才くらいで後に筆頭常務にまでなった人で、若い時から優秀だったのだと思う。

### ②すぐ反対するベテラン

窓口の手続きを作る部署に約7年間いて、銀行で一番事務手続きに詳しいと言われるようになり、少し天狗になっていた。そこへ上司が外回り中心の経歴の人に代わり、いろいろ提案してくるのだが、その都度即座に「それは3年前に検討した」「それはできないことになっている」と答えていた。その結果、サラリーマンとして大罰点を食らってしまった。一カ所に長い間いてベテランになると、どうしても物事を否定的に見てしまう。能力を生かして、難しいことを実行するのが良いベテラン、本当のプロだと思う。

### ③プロジェクトを男のロマンと言った人

サラリーマン人生には、ここぞという仕事が一回は回ってくるものだ。金沢に来るまでの私にとって、銀行の将来を左右するといわれた第3次オンラインシステムの企画がそれに当たる。そのプロジェクトの長であった部長は、部下の家族に「毎日帰りが遅くなって申し訳ない。今こんな仕事をしているんです」と自筆の手紙を書くような人だったが、決起大会などの際に必ず「このシステムは男のロマンである」と言っていた。その一言に全員がついて行き、システムが始動した日には皆が泣いたと思う。

システム開発部から金沢へ転勤になった時に「ここでの仕事が一番充実していた。しかし、次に転勤するとき、金沢支店での仕事が一番充実していたと言える仕事をしてきます」と挨拶してきた。

## 歩んだ一年を顧みて

1996年～1997年 会長 中谷 栄 治



この一年間、金沢北RCの1ページを創出して下さいました幹事さんをはじめ、役員理事、会員皆様の友情とご協力に厚く御礼申し上げます。

RIのテーマ「築け未来を、行動力と先見の眼で」、クラブテーマ「親睦を深め奉仕の理想を行動に」「親睦を深めロータリーに活力を」と共に歩み出して1年。ロータリーの本質に1歩でも近づく奉仕の実践に、多くの会員の御家族の参加を賜り実り多いものがあったと思います。これも偏に、各委員長さんの意欲的な行動の成果と深く感謝申し上げます。又、楽しむロータリーの1つとして色々な同好会の発足は、人との出会い、親睦交流を深める機会を与えて頂き、本当にお世話になり有難うございました。

歩んだ一年間を振り返って会長として至らぬ事多々あった事と思います。あらためてお詫び申し上げますと共に、私事ながら此の1年間充実した素晴らしい経験をつまらせて頂いたロータリーに、心より御礼申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 細則第3条、第4節 PART II

1996年～1997年 幹事 安宅 雅 夫



中谷年度幹事に賜りました会長はもとより理事会の皆様、そして全会員の皆様のご支援、ご協力に対し、心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

就任のご挨拶で「とにかくやるだけはやります。」と大見栄を切ってしまったからには、結果は考えずに前進することだけでこの年度が過ぎ去ってしまいました。

従いまして今更振り返ってみましても戻っては参りませんので、反省はいたさない事にします。ただ次年度理事会の皆様のご参考にしていただければと念じております。

会長を盛りたて、会務を全うすることが幹事の務めと開き直った結果として、ホームクラブ皆出席という小生にとって快挙とも言える体験をすることが出来ました。

このことは年初の目標でもありましたので、誠にうれしく思っておる次第です。これだけは自分自身でほめてやろうと考えているのですが…。

いずれにいたしましても、細則第3条第4節を忠実に果たせたか否かについては、定かではありません。はっきりしておりますのは、中谷会長という素晴らしい人格者とご一緒させていただき、大変楽しい思いを刺せていただいたという事です。これも偏に会員各位のおかげと深く感謝申し上げます。このお返しについては今後の活動の中だと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上一年間のお詫びと、心よりのお礼とさせていただきます。

